

第2章 石川県の景観

1. 石川県における景観の背景

石川県の景観の背景は、主として次のように整理できます。

1) 位置

石川県は北陸地方の中部に位置し、東は富山県及び岐阜県に、南は福井県に接し、北は能登半島となって日本海に突出しています。地形は、南西から北東に向かって細長く、東西100.9km、南北198.4km、海岸線は581.0kmの延長を有しています。



2) 気候

石川県は典型的な日本海側気候に属し、冬の気候に特徴があります。夏に比べて冬の降水量(雪)が多く、冬に雷が多く発生するという世界的にも珍しい地域となっています。その反面、雪解けの季節の明るい日差しや湿潤多雨とフェーン現象による蒸し暑い夏などの季節は、冬の気候とは鮮やかな対比を見せ、各季節の特徴を強く感じることができます。

このことは、しっかりした家屋の構造や、平入り形式の町家の発達、能登の間垣、加賀の雪吊り、武家屋敷跡のこも掛け、頑丈な黒瓦の街並みなど石川の四季の変化を彩る象徴的な景観を生み出しているほか、季節風に伴う潮騒や四季折々の草花の香り、渡り鳥の飛来などもまた景観に影響を与える要素となっています。

参考：石川県における気象の平年値

年間日照時間	1,667.5時間
降水量総量	2,470.2mm
階級別積雪日数	
0~10cm	54.7日
10cm~50cm	29.3日
50cm~	8.6日

※平年値は1971~2000年の30年間の平均
資料：石川県統計書



▲手取川と白山



▲兼六園の雪吊り

3) 地勢

石川県は、日本海に突き出した半島による細長い形状が、多彩な地形を生み出し、変化に富んだ自然景観を形成しています。

地形は、加賀と能登では大きく異なります。加賀は山と平野からなり、南東端に日本三名山の一つに称えられる白山がそびえ、四季や時間、見る場所によって表情が変わり、人々の信仰の対象になっています。その白山山系から流れ出る手取川、浅野川、犀川、梯川、大聖寺川などの河川は、人々に豊富な水をもたらし、手取川扇状地や加賀平野が形成され、広大な穀倉地帯が広がっています。河北潟や片野の鴨池などの湖沼は、貴重な渡り鳥の飛来地となっており、海岸線には、車で波打ち際を走ることのできる千里浜なぎさドライブウェイなど日本屈指の砂浜が発達しています。

能登半島は周囲が日本海に面した半島で、その基部に白山山系からつづく宝達丘陵があり、その北に邑知潟低地帯をへだてて奥能登丘陵が北東へ大きく弧を描いて海へ突き出しています。長く変化に富んだ海岸線には、能登金剛や曾々木海岸、祿剛崎など荒々しい能登外浦、七尾湾、九十九湾など波の静かな内浦の対照的な地形が発達しています。



▲スーパー林道からの白山眺望



▲手取川扇状地の夕日



▲越前加賀海岸国定公園



▲能登内浦の九十九湾

4) 歴史

(1) 江戸期以前

縄文時代の遺跡として真脇遺跡や御経塚遺跡、弥生時代の遺跡として加茂遺跡や吉崎・次場遺跡、また古墳時代の遺跡として、雨の宮古墳群や法皇山横穴古墳など数多くの遺跡が分布しています。

中世の遺跡として、県内最古の寺院の末松廃寺、能登国分寺、歌舞伎「勸進帳」で知られる安宅の関、加賀における一向宗の拠点であった鳥越城趾、能登国の拠点であった七尾城趾など数多くの歴史的・文化的景観資源が点在しています。また、白山信仰の拠点である白山比咩神社や那谷寺、能登を代表する気多大社、総持寺祖院、真宗王国の伝統を反映した寺院建築や行事などが継承されており、現在もその面影を残した景観が見られます。



▲雨の宮古墳群



▲能登国分寺公園



▲総持寺祖院

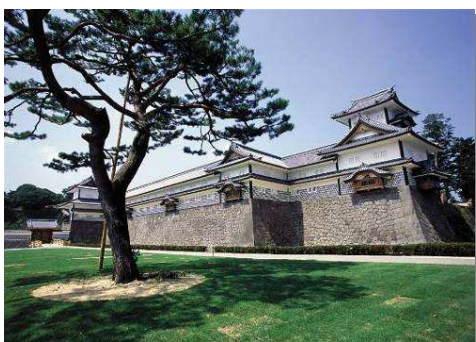


▲安宅の関

(2) 江戸期

江戸三百年の間に、全国最大の外様大名である前田家によって築かれた、加賀百万石の風格が石川の景観に大きく影響しています。前田家の居城であった金沢城、日本三名園の一つの兼六園、加賀藩士の邸宅が並ぶ長町武家屋敷群、町民の住宅であった町家などによって、往時を偲ばせる景観を形成しています。

また、大阪と蝦夷地を結ぶ日本海航路に就航した廻船である北前船は、石川との関係も深く、海上での商業活動を通して人、モノ、文化を運びました。北前船の寄港する港として塩屋・安宅・金石・福浦・七尾・黒島・輪島などがありました。北前船の船主は北陸の港に多く、橋立では船主集落を形成しており、その邸宅や赤瓦の街並みは歴史的な財産であり、地域の特徴的な景観を形成しています。



▲金沢城菱櫓・五十間長屋・橋爪門続櫓



▲黒島地区の街並み

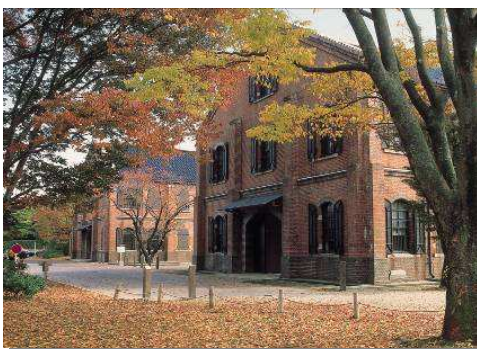
(3) 明治・大正期以後

明治になると、産業技術の強化のために職人育成に力を入れ、輪島・山中漆器、九谷焼、加賀友禅など石川の伝統工芸の基礎が作られました。また県内初の近代的な工場である金沢製糸場が作られ、現代の産業の礎となりました。

金沢城は第九師団の拠点となり、戦後には金沢大学が開校しました。旧石川県庁のしいのき迎賓館、旧第四高など中学校の石川四高記念文化交流館、旧陸軍兵器庫の石川県立歴史博物館など、明治・大正の時代を経てきた公共建築をはじめとして、明治以降に建てられた街道沿いの町家も残り、江戸期から現代までの重層的な街並み景観を形成しています。



▲石川四高記念文化交流館



▲石川県立歴史博物館

5) 文化

真宗王国の伝統は、人々の生活やコミュニティはもちろん、住居のありようにも大きな影響を与えています。また、前田家は文化の庇護者としても名高く、現代にまで受け継がれる文化が多く存在します。

県内にある伝統工芸品は 36 品目あり、国指定の工芸品としては九谷焼、加賀友禅、牛首紬、加賀繡、輪島塗、山中漆器、金沢漆器、金沢仏壇、七尾仏壇、金沢箔の 10 品目があります。また金沢芸妓、加賀宝生、加賀万歳、加賀獅子、御陣乗太鼓といった芸能、能登地区のキリコ祭りや子供歌舞伎が演じられる小松のお旅祭りといった祭、ユネスコ無形文化遺産に登録されたアエノコトといった風習、金沢の三文豪を代表とする文学、江戸時代から作られてきた加賀野菜や菓子、加賀料理といった食文化、その他にも茶道、美術といった様々な文化が発展・継承され、石川の人々の生活に深く溶け込み、現在の景観に取り入れられています。



▲九谷焼



▲加賀友禅灯籠流し



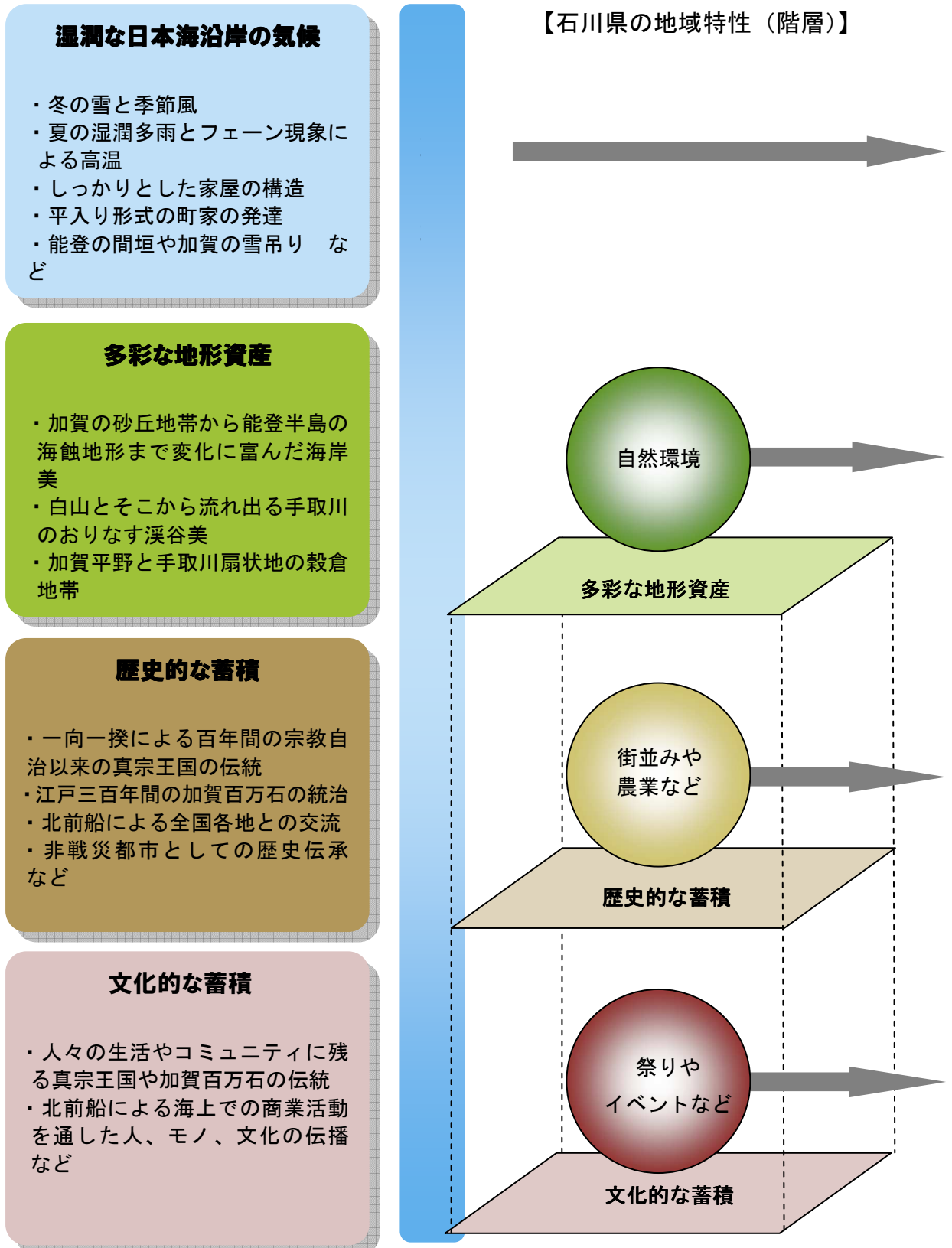
▲輪島塗



▲金沢箔

2. 石川県の景観特性

石川県には、湿潤な日本海沿岸の気候、多彩な地形資産や歴史的な蓄積、文化的な蓄積が折り重なっており、これらが石川らしい景観を形成しています。



【 良好な景観資源例 】



深雪をしのぐしっかりとした家屋の構造



能登の間垣



金沢の風物詩・雪吊り



雪をかぶる白山



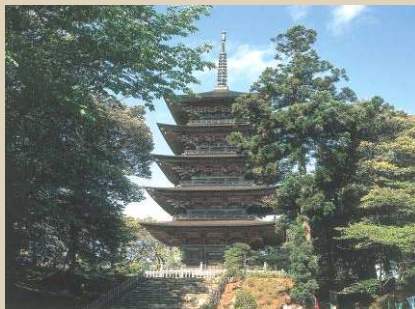
金沢を流れる犀川



変化に富んだ海岸美・能登金剛



重要文化財や名勝などがある那谷寺



妙成寺の五重塔



美しい土塀の連なる長町武家屋敷群



青柏祭（七尾市）



金沢百万石まつり（金沢市）



お旅祭り（小松市）

3. 石川県の景観構成要素

景観は様々な要素で構成されており、それらが一体となって石川県独特の景観を形成しています。石川県の景観構成要素は、大きく 10 に分類することができます。

景観構成要素	解説	代表的な景観
① 眺望景観	○高台や見晴らしの良い視点場から視対象を眺望した景観	・別所岳からの七尾湾眺望 ・木場潟からの白山眺望 ・柴山潟からの白山眺望
② 湖沼景観	○渡り鳥などの生息地となる湖とその周辺の水郷・水辺景観	・河北潟 ・木場潟 ・片野の鴨池
③ 丘陵地・森林景観	○緑豊かで多様な森林が広がる丘陵地・森林の景観	・石動山 ・白山 ・医王山
④ 田園景観	○平地の水田や丘陵地の棚田の景観	・白米の千枚田 ・手取川扇状地の田園
⑤ 海岸景観	○断崖・岩礁・砂丘など変化に富んだ海岸の景観	・九十九湾 ・千里浜なぎさドライブウェイ ・加賀の加佐ノ岬
⑥ 河川景観	○人々に潤いと安らぎを与え、動植物の生育の場となる河川とその周辺の景観	・犀川 ・浅野川 ・手取川
⑦ 都市・集落景観 〔住宅地・商業業務地 農山村・漁村〕	○歴史と暮らしに根ざした地域ごとの個性ある景観	・内灘白帆台 ・県内各地の里山 ・橋立漁港
⑧ 沿道景観	○都市や集落、観光地を結び付ける広域幹線道路からの景観	・珠洲道路 ・能登有料道路 ・加賀産業開発道路
⑨ 拠点景観 〔観光拠点 交通拠点〕	○温泉地などの観光拠点や駅、空港などの交通拠点の景観	・和倉温泉 ・兼六園、金沢城公園 ・金沢駅
⑩ 夜間景観	○市街地の夜景、日本海の漁火など夜間の景観	・卯辰山から望む市街地の夜景 ・香林坊のネオン ・日本海の夕陽、漁火



1. 眺望景観

(1) 景観の概況

○国立公園に指定されている白山は、本県を代表する自然景観のひとつであり、雪を頂いた山容は人を魅了するばかりでなく、信仰の山として歴史的・文化的な景観をも有しています。また、別所岳から七尾湾を望む眺望景観も、能登の特徴的な景観です。

- ・木場潟公園や柴山潟から眺める白山
- ・別所岳サービスエリアから眺める七尾湾

(2) 景観形成の方針

○これらの眺望を阻害する建築物などの規制誘導や良好な視点場の整備など、本県を象徴する眺望景観の保全を図ります。



▲木場潟からの白山眺望

【 眺望景観要素 】



2. 湖沼景観

(1) 景観の概況

○柴山潟や木場潟、渡り鳥の渡来地として貴重な片野の鴨池や河北潟、邑知潟など、県内各地に水郷・水辺景観が形成され、本県の景観を特徴づけています。

- ・木場潟、柴山潟
- ・渡り鳥の渡来地である片野の鴨池
- ・河北潟
- ・邑知潟

(2) 景観形成の方針

○湖面に映る白山や野鳥の姿など、各地域の個性的な景観特性を維持しながら、周辺の田園や街並みの景観を含め、親水性を活かした湖沼景観の保全・創出を図ります。



▲渡り鳥の渡来地として貴重な片野の鴨池

【 湖沼景観要素 】



3. 丘陵地・森林景観

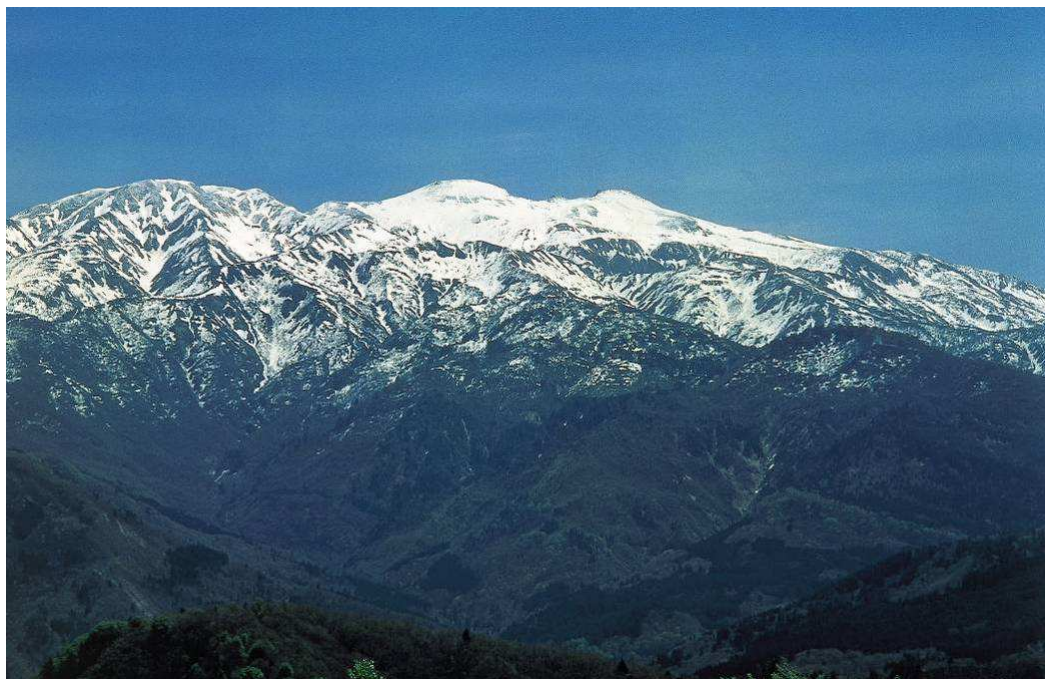
(1) 景観の概況

○加賀地域には白山を中心とする山稜が連なり、能登地域は、ほぼ全域がなだらかな丘陵地となっています。豊かで多様な森林が広がる山地・丘陵地は、人々に潤いややすらぎをもたらす重要な自然景観であるばかりでなく、県土や生態系の保全など多面的な機能を有しています。

- ・ 白山国立公園の豊かな自然
- ・ 白山ろくの温泉やスキー場群などの観光地
- ・ 宝達山、石動山の豊かなブナ林
- ・ 医王山

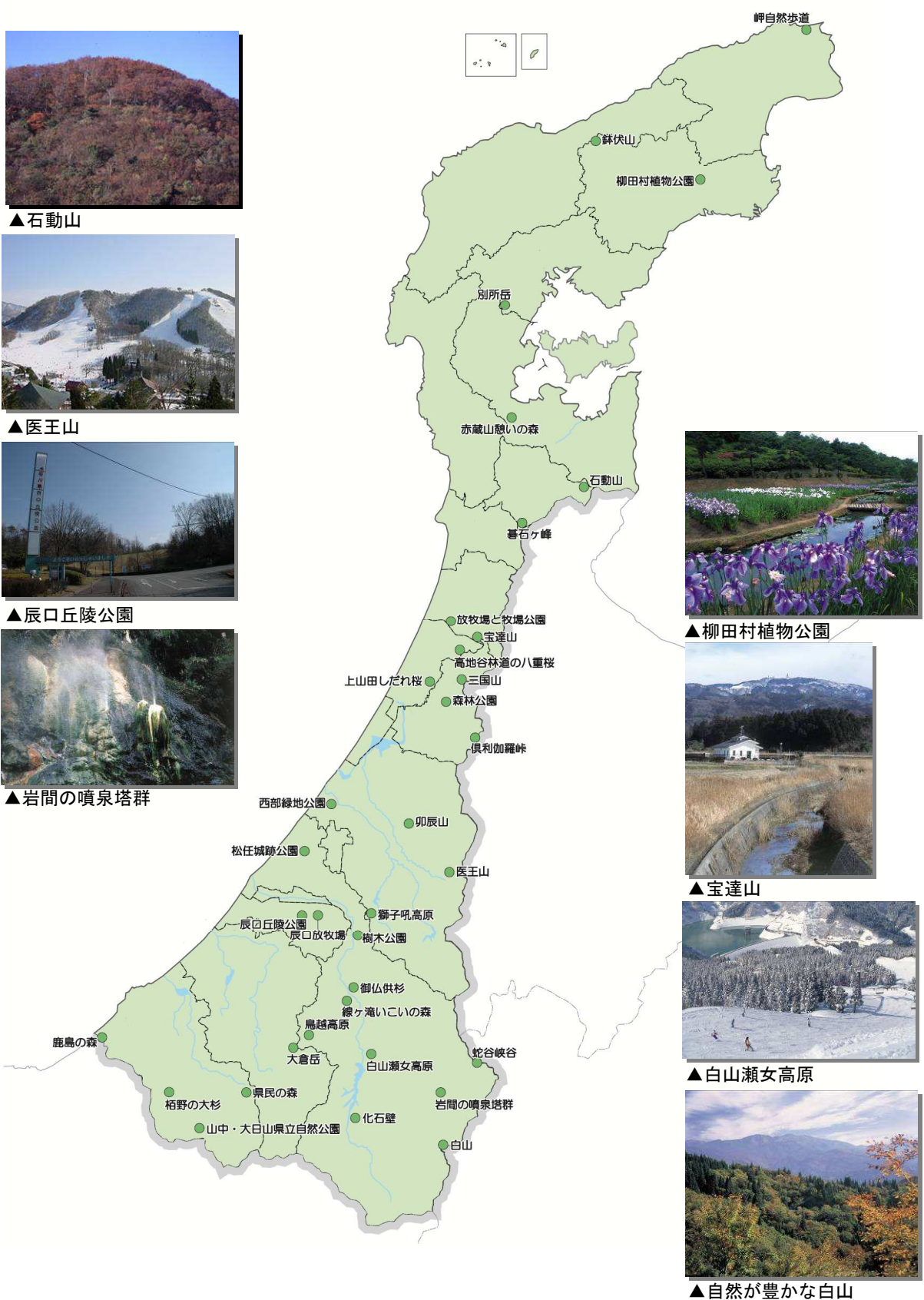
(2) 景観形成の方針

○白山山系から能登地域へと続く山地・丘陵地では、森林の特性に応じた適切な保全や維持管理に努め、良好な山地・森林景観の保全・再生を図ります。



▲白山国立公園の自然

【 丘陵地・森林景観要素 】



4. 田園景観

(1) 景観の概況

○金沢平野は、肥沃な平野と豊富な水資源に恵まれ、水田を主とする田園景観が広がっています。また、能登地域や白山ろく地域には、文化的にも重要な特色ある田園風景が見られます。

- ・手取川の扇状地に広がる田園
- ・国指定名勝の白米の千枚田
- ・邑知湍周辺の田園

(2) 景観形成の方針

○都市や集落と農地の調和のとれた土地利用を推進するとともに、建築物などの規制誘導や農耕の維持によって、良好な田園景観の保全・創出を図ります。



▲手取川扇状地の田園

【 田園景観要素 】



5. 海岸景観

(1) 景観の概況

○日本海に突き出た能登半島を有する本県には、断崖や岩礁からなる荒々しい能登外浦や波の静かな能登内浦、千里浜や日本屈指の砂丘である内灘砂丘から加賀海岸に至る砂浜など、変化に富む多彩な海岸が連なり、それらは本県を特徴づける重要な自然景観となっています。

- ・能登外浦の変化に富んだ海岸線（巖門、関野鼻、曾々木海岸など）
- ・能登内浦の海岸美（九十九湾など）
- ・砂漠が続く海岸線（千里浜なぎさドライブウェイ、内灘海岸など）
- ・越前加賀海岸国定公園に指定された美しい海岸線（加佐ノ岬）

(2) 景観形成の方針

○できるだけ自然海岸として保全することを基本とし、必要に応じて廃船などの景観阻害物の撤去や枯損木の伐採、海岸林の植栽・再生などによる景観の保全・創出を図るとともに、隣接する道路や護岸などの施設が自然と調和するように配慮します。



▲岩肌が露出した加佐ノ岬

【 海岸景観要素 】



▲外浦の波の花



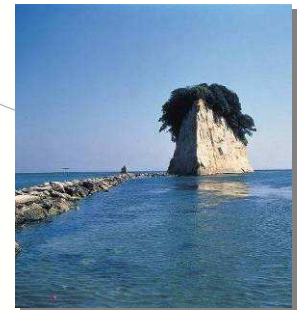
▲巖門



▲千里浜海岸



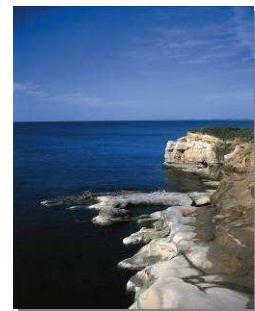
▲内灘海岸



▲見附海岸



▲七ツ島



▲尼御前岬

6. 河川景観

(1) 景観の概況

○白山を源流とする県内最長の手取川をはじめ、大小さまざまな河川や用水は、県民の生活を支える生活用水や水産資源の供給だけでなく、人々に潤いと安らぎを与え、また、野生生物の生息の場としても重要になっています。

- ・自然豊かな手取川
- ・歴史的な風情のある浅野川
- ・レクリエーション空間としての犀川
- ・青柏祭が行われる御祓川

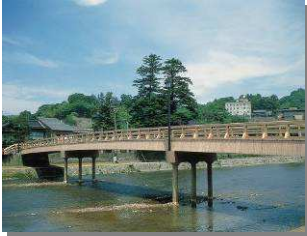
(2) 景観形成の方針

○水質や生態系の保全に努めるとともに、周辺環境と調和した護岸や親水空間の整備など、良好な河川景観の保全・創出を図ります。



▲レクリエーション空間としての犀川

【 河川景観要素 】



▲浅野川



▲犀川



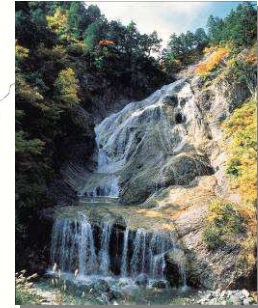
▲鞍月用水



▲手取峡谷



▲梯川



▲姥ヶ滝



▲鶴仙溪とこおろぎ橋

7. 都市・集落景観

(1) 住宅地景観

①景観の概況

○一向一揆によって成立した真宗王国や加賀百万石として知られる城下町、北前船の寄港地など、歴史・文化を伝える街並みが残り、地域の特性を反映した住宅地景観が各地に形成されています。

- ・ 歴史の風情が漂う長町武家屋敷群
- ・ 古い街並みが残る小松材木町
- ・ 日本海や河北潟を望む内灘白帆台

②景観形成の方針

○地域が育んできた歴史や伝統・文化に応じた規制誘導策の導入や住民の意識醸成などを通して、地域住民が誇りを感じることができる個性的で魅力的な街並みの保全・創出を図ります。



▲内灘白帆台

【 住宅地景観要素 】



▲内灘白帆台



▲金沢の長町武家屋敷群



▲小松の材木町



▲安宅町・義経通り



▲七尾の一本杉通り



▲鶴来の街並み



▲大聖寺の山の下寺院群



▲白峰の街並み



7. 都市・集落景観

(2) 商業業務地景観

①景観の概況

○近代的な都心部や歴史的な街並みが残る商業地、新たに開発された郊外の大型店舗群など、地域の活気と賑わいを感じさせる特徴ある商業地景観が形成されています。

- ・金沢の台所近江町市場
- ・金沢の繁華街香林坊、片町
- ・街並み修景が行われた輪島の馬場崎商店街

②景観形成の方針

○歴史や伝統・文化などの地域特性を取り入れた街並みの整備を図るとともに、郊外型の商業地では、過度の色彩を抑えるなど、周辺の田園や山並みと調和のとれた街並み景観を形成することにより、地域の特徴ある商業業務地景観の保全・創出を図ります。



▲輪島市馬場崎商店街

【 商業業務地景観要素 】



▲輪島の馬場崎商店街



▲宇出津の新町通り



▲小松のレンガ通り



▲山中温泉ゆげ街道



▲金沢の近江町市場



▲金沢の片町・プレーゴ



▲金沢の香林坊



▲金沢の堅町通り

7. 都市・集落景観

(3) 農山村景観

①景観の概況

○平野部の農村や里山の集落、白山地域の山村など、周辺環境と調和したさまざまな集落景観が見られ、地域の産業や文化と相まって特徴的な景観を形成しています。

- ・ 輪島市町野町金蔵の里山
- ・ 能登町宮地地区の里山
- ・ 白山市上木滑の里山
- ・ 七尾市能登島長崎町の里山

②景観形成の方針

○計画的な土地利用の誘導や農地・里山などの維持・保全に努め、地域の伝統的な色調や建築様式の継承など、特徴ある農山村景観の保全・創出を図るとともに、地域に伝わる祭りや行事の継承・活用や伝統的建造物の保存など、歴史的・文化的な景観資源の保全・再生を図ります。



▲能登町宮地地区の里山

【 農山村景観要素 】



7. 都市・集落景観

(4) 漁村景観

①景観の概況

○変化に富む海岸線に点在する漁港やその周辺には、能登地域の間垣をはじめ、地域の気候風土に育まれた特徴的な漁村景観が形成されています。

- ・ 輪島市大沢町の間垣
- ・ 輪島市黒島の黒瓦の街並み
- ・ 北前船で栄えた金沢市大野、金石
- ・ 加賀市橋立の赤瓦の街並み

②景観形成の方針

○景観に配慮した漁港整備のほか、周辺を含めた地域における親水空間の整備・活用や建築様式の継承など、特徴ある漁村景観の保全・創出を図るとともに、地域に伝わる祭りや行事の継承・活用や伝統的建造物の保存など、歴史的・文化的な景観資源の保全・再生を図ります。



▲輪島市大沢町の間垣

【 漁村景観要素 】



▲輪島市黒島の黒瓦の町並み



▲輪島市大沢町の間垣



▲穴水町のボラ待ちやぐら



▲志賀町赤崎

橋立漁港
橋立の赤瓦の街並み



▲志賀町福浦港



▲金沢市大野町



▲橋立漁港



▲加賀市橋立の赤瓦の街並み



8. 沿道景観

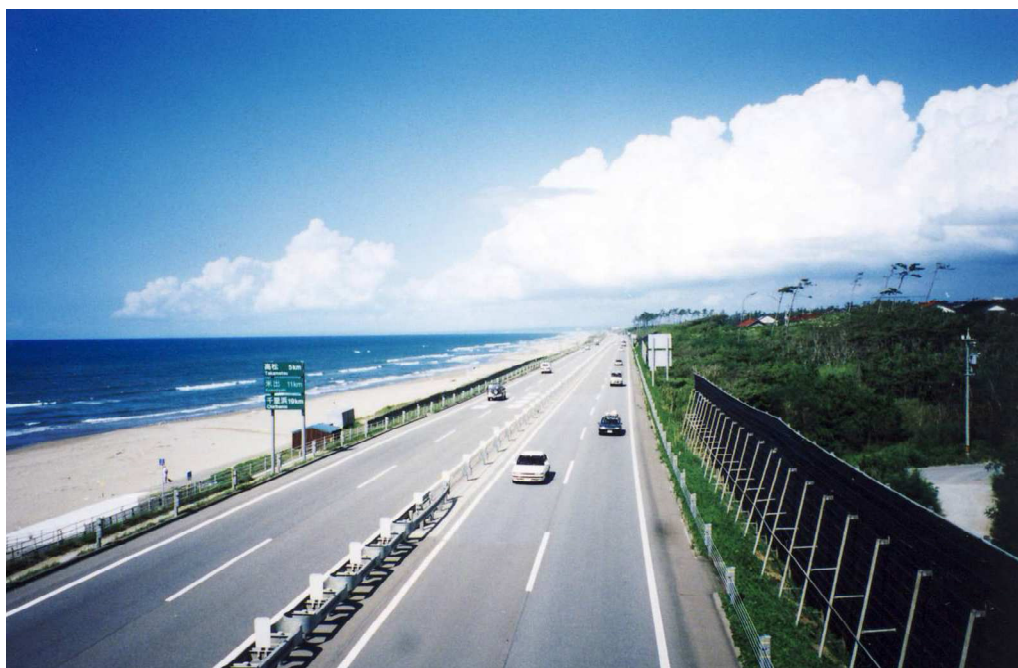
(1) 景観の概況

○県内の都市や集落、観光地を結ぶ広域幹線道路は、県民だけではなく、県外からの来訪者も多く利用する道路であり、その沿道景観は交通拠点とともに本県の第一印象となる可能性が高い景観です。

- ・北陸自動車道路から望む日本海
- ・加賀産業開発道路
- ・能登有料道路から望む日本海
- ・沿道にサルビアが植えられた珠洲道路

(2) 景観形成の方針

○インターチェンジなどの交通結節点周辺や沿道の建築物などの景観への配慮、屋外広告物の規制誘導、植栽による修景などにより、連続性のある沿道景観および良好なシークエンス景観の創出を図ります。



▲能登有料道路

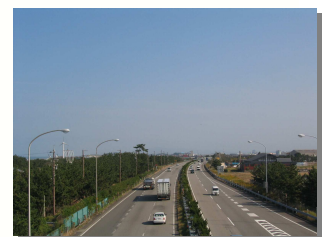
【 沿道景観要素 】



▲能登有料道路



▲珠洲道路のサルビア



▲北陸自動車道



▲加賀産業開発道路

9. 拠点景観

(1) 観光拠点景観

①景観の概況

○豊かな自然環境と一体となった温泉地や兼六園、金沢城公園などの歴史的・文化的な景観を資源とする観光拠点が数多くあります。

【名勝】金沢城公園、兼六園など

【温泉】加賀温泉郷、和倉温泉など

【社寺】白山比咩神社、気多大社、那谷寺など

【遺跡】雨の宮古墳群、真脇遺跡など

②景観形成の方針

○温泉街の街並み整備や観光拠点への案内誘導標識などの統一化、観光拠点周辺の歴史的・文化的な景観資源の保全・創出などにより、個性豊かな景観の形成を図ります。また、こうした観光地では、地域が一体となって個性を磨き、魅力ある景観を創出することが重要です。



▲金沢城公園

【 観光拠点景観要素 】



▲和倉温泉

▲気多大社

▲那谷寺

▲にし茶屋街

▲兼六園

▲加賀温泉郷（片山津温泉）

▲白山比咩神社

9. 拠点景観

(2) 交通拠点景観

①景観の概況

○鉄道駅やインターチェンジ、港湾、空港など、来訪者を迎える陸・海・空の交通拠点が数多くあり、来訪者に本県を印象づける最初の場となります。

- ・金沢駅、小松駅
- ・金沢港、七尾港
- ・小松空港、能登空港

②景観形成の方針

○特色あるデザインによる玄関口としての景観形成や屋外広告物の規制誘導などにより、魅力ある拠点景観の創出を図ります。



▲金沢駅東口広場の鼓門

【 交通拠点景観要素 】



10. 夜間景観

(1) 景観の概況

○日本海に面して長い海岸線を有する本県には、海に沈む夕陽や漁り火が随所で見られ、来訪者にとっての魅力的な景観のひとつとなっています。また、高台や街中のビルから望む市街地の夜景や雪明かりに浮かぶ古い家並みなども地域独特の景観として重要です。

- ・ 石川県庁展望台からの夜景
- ・ 香林坊の夜景
- ・ ひがし茶屋街の夜景
- ・ 卯辰山から望む金沢市街地の夜景

(2) 景観形成の方針

○地域の特性に応じた夜間照明の形態・手法や適切な光量・光の質などに配慮し、夜間景観の保全・創出を図ります。



▲卯辰山から望む金沢市街地の夜景

【 夜間景観要素 】



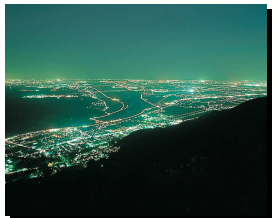
▲県庁展望台からの夜景



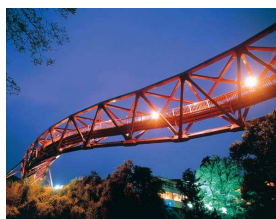
▲金沢・香林坊の夜景



▲石川四高記念文化交流館のライトアップ



▲獅子吼高原から望む夜景



▲あやとりはしのライトアップ



▲卯辰山から望む金沢の夜景



▲兼六園のライトアップ



▲石川門のライトアップ



▲ひがし茶屋街の夜景



▲主計町茶屋街の夜景



▲卯辰山から望む金沢の夜景

